

箕輪町災害ボランティアセンターの開設・運営訓練を行う

箕輪町社会福祉協議会は、箕輪町・箕輪町ボランティア連絡協議会と共催のもと、南海トラフ地震発生を想定して、災害において復興の一助を担うボランティアの拠点となり活動をサポートする災害ボランティアセンターの開設・運営訓練を実施しました。

参加者の多くからは、非常に有意義な訓練であったとの声が聞かれました。

○実施日時

平成 29 年 12 月 17 日(日)午後 1 時から午後 4 時まで

○実施場所

箕輪町地域交流センター

○参加者

60 名を超える町内関係者

○内容

訓練は過去の開設経験や訓練等に基づき本年策定した『箕輪町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル～箕輪町社会福祉協議会』に基づき、震度 6 弱の南海トラフ地震発生から 72 時間経過後の開設を想定して実施しました。

参加者は「本部」「総務チーム」「ボランティアチーム」「情報チーム」に分かれて前半、後半の 2 回実施しました。

訓練の流れは、

- ①参集したボランティアの受付
- ②依頼を受けたケースについて、ボランティアが参加したい活動を見つけて参加表明とマッチング(派遣調整)
- ③活動班のオリエンテーション
- ④必要資材を携行して活動先へ
- ⑤派遣後の活動報告

で、派遣中の交通事故、二次災害の突発事案対応等もありました。

○参加者の声

大半の参加者から「ボランティア活動の流れが体験できて非常に良かった。」という声が聞かれ、「行く場所へ地区名を記載するなど、より具体的に」「ボランティア経験から、被災地の農作業支援対応の検討を」などの要望もありました。

○セーフコミュニティ活動の防災・減災広報

出席者に箕輪町セーフコミュニティ・くらしの安全対策委員会が取り組んでいる地震被害軽減プログラム、感震ブレーカーについてのビラを配布させていただきました。

(別添)

ボランティアチームの訓練打ち合わせ



ボランティアの受付



ボランティアの名札作成



派遣ボランティアのオリエンテーション



資材の受領

